

## グアイフェネシン 500mg/g 散

**溶出試験** 本品のグアイフェネシン ( $C_{10}H_{14}O_4$ ) 約 100mgに対応する量を精密に量り、試験液に水 900mLを用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始 15 分後、溶出液 10mL以上をとり、孔径 0.45 $\mu$ m以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 2mLを除き、次のろ液 5mLを正確に量り、水を加えて正確に 20mLとし、試料溶液とする。別にグアイフェネシン標準品を 60°Cで 3 時間乾燥し、その約 30mgを精密に量り、水に溶かし、正確に 100mLとする。この液 10mLを正確に量り、水を加えて正確に 100mLとし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 273nmにおける吸光度 $A_T$ 及び $A_S$ を測定する。

本品の 15 分間の溶出率が 85%以上のときは適合とする。

$$\begin{aligned} & \text{グアイフェネシン (C}_{10}\text{H}_{14}\text{O}_4\text{) の表示量に対する溶出率 (\%)} \\ & = (W_S / W_T) \times (A_T / A_S) \times (1 / C) \times 180 \end{aligned}$$

$W_S$ : グアイフェネシン標準品の量 (mg)

$W_T$ : グアイフェネシン散の秤取量 (g)

$C$ : 1g中のグアイフェネシン ( $C_{10}H_{14}O_4$ ) の表示量 (mg)

**グアイフェネシン標準品** グアイフェネシン標準品 (日局)